

むかしも今も、おもしろい！



ひょうき 病気の太おばさんのためにひとりで買い物に出かけたメアリーと、ふしぎでおせっかいなカサのお話。おとなりの老夫婦のおてつだいをしようとしたマッジのお話。はじめてのおてつだいをする女の子のお話が2つ入っています。

「はじめてのおてつだい」
ジャネット・マクネイル/作 松野 正子/訳
キャロライン・ダイナン、ジェイン・ペイトン/さしえ 岩波書店(2-マ)



「天動説の絵本」
安野光雅/著
福音館書店(EMア)

てんどうせつ 天動説って知っている？
むかし 昔の人は、地球は動かず
たいよう 太陽や星がそのまわりをまわっているのだと思っていました。どんなふうを考えて、どんなふうに見ていたのか。美しい絵で描かれた科学絵本です。

テディ・ロビンソンは茶色のぬいぐるみのくまで、デボラといつもいっしょ。時には庭におきざりにされたり、うば車から落ちてしまったりとちょっとした事件もあるけど、2人の楽しい日々のおはなしです。



「くまのテディ・ロビンソン」
ジョン・G・ロビンソン/さく・え
坪井郁美/やく 福音館書店(2-一口)



「キャプテンはつらいぜ」
後藤竜二/著 杉浦範茂/絵
講談社(1-ゴ)
勇は少年野球チームのキャプテン。だけどチームはバラバラで、ピッチャーも中学受験でやめてしまう。そこで勇は、おさななじみの秀治をチームにさそうが…。少年野球が活発だった当時の人気シリーズ1作目。

「岩波の子どもの本シリーズ」 1959年から世界の絵本を紹介しているシリーズです。1979年にはこんな本が出ています。

「そんなときなんていう？」
セルシ・ジョスリン/文
モーリス・センダック/絵
谷川俊太郎/訳
岩波書店(EAセ)



道を歩いていたら、ワニとぶつかった。そんな時なんて言ったらいいの？楽しくてユーモラスな絵で、いろいろな場面のあいさつを紹介しています。
しまいぼん 姉妹版の『そんなとき どうする？』もよんでね。



「せんろはつづくよ」
マーガレット・ワイズ・ブラウン/文
J.シャロー/絵 与田準一/訳
岩波書店(EAシ)



「名馬キャリコ」
バージニア・リー・バートン/え・ぶん
せたていじ/やく
岩波書店(EAバ)

「すにっぴいとすなっぴい」
ワンダ・ガーク/文・絵
わたなべしげお/訳
岩波書店(EAガ)



「おつきさん どうしたの」
E.M.プレストン/文
バーバラ・クーニー/絵
岸田衿子/訳 岩波書店(EAク)



あびこしみん 我孫子市民

35さい にお祝い

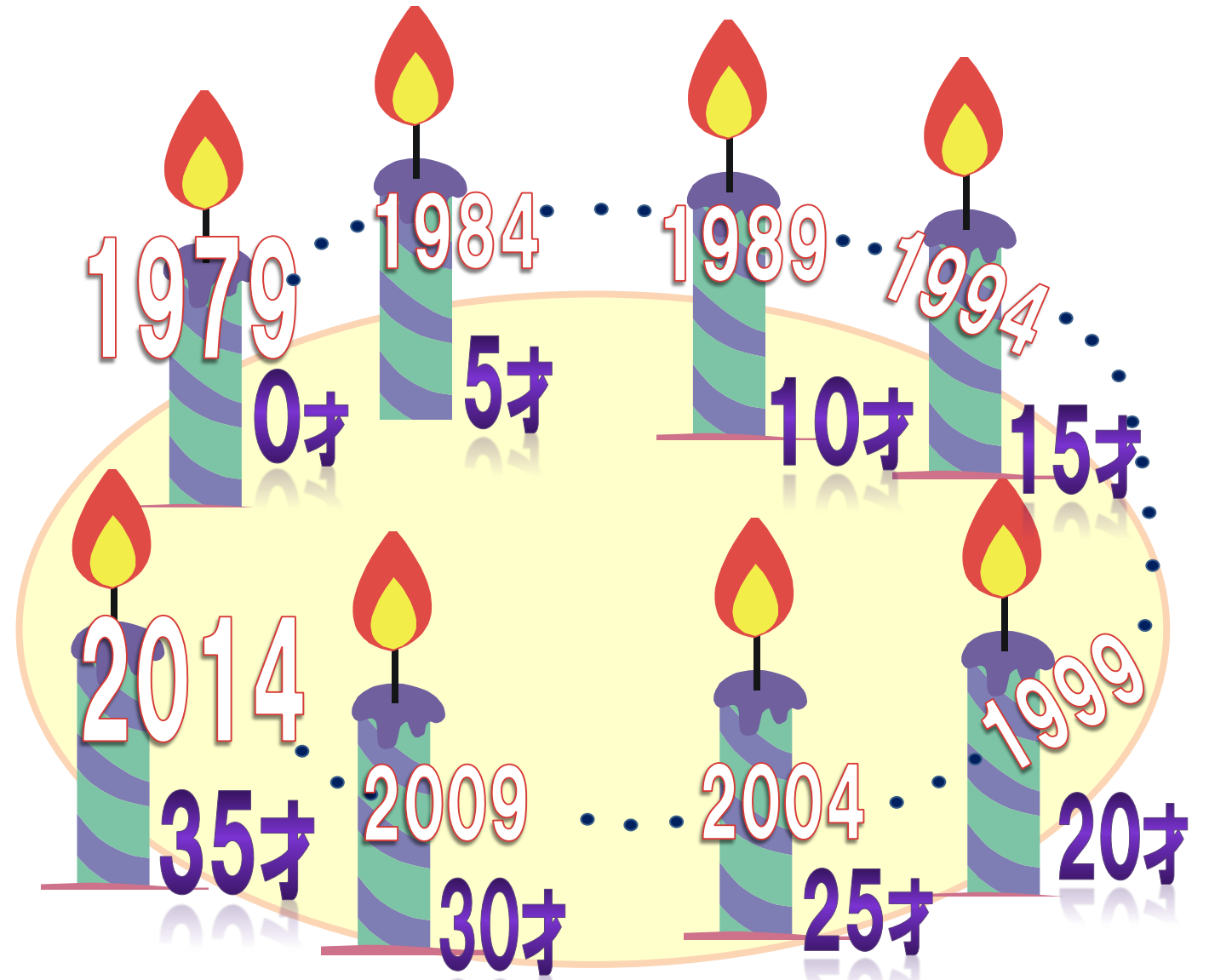
1979年11月1日に

あびこしみんとしよかん 我孫子市民図書館がうまれてから
今年で35年。

としよかん 図書館が

ないました!

そのころから、今も変わらず
親しまれている本たちを
ご紹介いたします。



ぼくたちみんな、おなじとし！

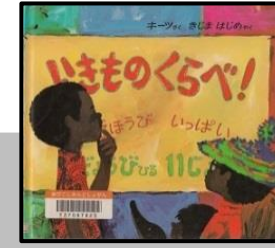
「でっかいねずみと
ちっちゃなライオン」
イブ・タイタス／ぶん
光吉 夏弥／やく
レオナード・ワイズガード／え
大日本図書(2-タ)



「子犬のロクがやってきた」
中川李枝子／作 中川宗弥／画
岩波書店(1-ナ)



「こぎつねルーファスのぼうけん」
アリソン・アトリー／作 石井桃子／訳
キャサリン・ウィグルズワース／さし絵
岩波書店(2-ア)



「いきものくらべ!」
エズラ=ジャック=キーツ／さく
きじまはじめ／やく 借成社
(EAキ)

「これはのみのびこ」
谷川俊太郎／作 和田誠／絵
サンリード(EAワ)



「きょうはなんのひ?」
瀬田貞二／作 林明子／絵
福音館書店(EAハ)



「あゆみとひみつのおともたち」
いぬいとみこ／作 大友康夫／画
岩波書店(1-イ)



「かしこいポリーと
まぬけなおかみ」
キャサリン・ストー／作
佐藤凉子／訳 若菜珪／絵
金の星社(2-ス)



「白雪ひめと七人のこびと」
グリム／[原作] スベン・オッター／え
矢川澄子／やく 評論社
(EAオ、MEAオ)

「風のにってきた
メアリー・ポピンズ」
パミラ・リンド・トラヴァース／作
林容吉／訳
メアリー・シェパード／さし絵
岩波書店(2-ト)



「しあわせのテントウムシ」
アルフ・ブジョイセン／作
大塚勇三／訳
ニルス・アース／さし絵 岩波書店
(2-プ)

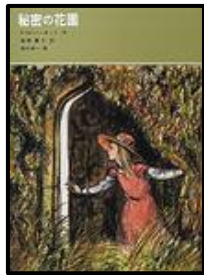
「はしれちいさいきかんしゃ」
イブスバング・オルセン／さく・え
やまのうちきよこ／やく 福音館書店
(EAオ)



「なんげえはなっこしかへがな」
北彰介／文 太田大八／絵
銀河社(EAオ)



「にちよういち」
西村 繁男／作 童心社(EAニ)



「秘密の花園」
フランシス・ホジソン・パーネット／作
猪熊葉子／訳 堀内誠一／画
福音館書店(2-バ)



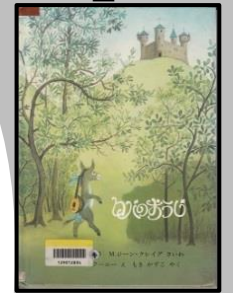
「おばあちゃんの
たんじょう日はこ」
シャロン=ペル=マティス／作
ダイアン・ディロン、レオ・ディロン／絵
中村妙子／訳 借成社(2-マ)



「にほんご」
安野光雅ほか／著
福音館書店(810)

わたしたちがいつも使っているにほんご。いつのまにおぼえたのかな？この本はやさしいことばで「にほんご」のいろいろなすがたをおしえてくれます。かんがえるのがたのしくなるよ。

「ロバのおうじ」
グリム／げんさく
M.ジーン・クレイグ／さいわ
バーバラ・クーニー／え
もきかずこ／やく ほるぷ出版
(EAク、MEAク)



「忘れ川をこえた子どもたち」
マリア・グリーペ／作
大久保貞子／訳
ハラルド・グリーペ／さし絵
富山房(2-グ)



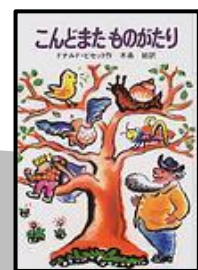
「ジャングル・ブック」
ラディヤード・キップリング／作
木島始／訳 石川勇／画
福音館書店(2-キ)



「こんどまたものがたり」
「あとでまたものがたり」
ドナルド・ピセット／作 木島始／訳
岩波書店(2-ビ)



「龍の子太郎」
松谷みよ子／著
田代三善／絵
講談社(1-マ)



「おやゆびこぞう」
フェリックス・ホフマン／え
大塚勇三／やく ペンギン社
(EAホ、MEAホ)



「せかい1おいしいスープ」
マーシャ・ブラウン／さいわ・え
わたなべしげお／やく ペンギン社(EAブ、MEAブ)



「にんじんケーキ」
ノニー・ホグローギアン／作
乾侑美子／訳 評論社(EAホ)

みんなのお父さん、お母さんも読んだことがあるかもね。きいてみよう！